

評価基準 A>3.5 B>3.0 C>2.5 D≤2.5

項目		評価の観点	評価	反省・改善点
1	確かな学力	○ 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた子供が育っている。	B	学習のめあてと振り返り活動に重点を置き、学力の向上を図った。振り返りでどこが分からなかったのか明確にし、対策を講じることで、テストの正答率が上がった。知識の理解にとどまることなく、一人一人に考える場面を設定していくことで、更なる学力の向上を目指している。委員会活動でもICTを活用する等、ICT活用の幅が広がっている。
		○ 自ら学び、意欲的に学習する子供が育っている。	C	教師が子供の興味・関心を掻き立てる学習課題を提示することで自主性を育んだ。また、支援員との連携を図り、一人一人への声掛けを積極的にすることで、子供の意欲の向上が感じ取れた。引き続き、学ぶ意味、目的などをしっかり持ち、進んで学習できるよう課題や家庭学習を工夫していく。
		○ 読書に親しむ子供が育っている。	C	今年度も地域ボランティアの方による読み聞かせ、PTA研修委員会による読書会、図書集会等、学校・保護者・地域が連携しながら読書推進活動に取り組んだ。学年に必要な図書を中心に購入したので、今後は読書の時間を確保し、本の面白さを伝え合う場の設定などを行い、読書離れの子供を減らす対策を講じていく。
2	生徒指導 学校安全	○ 気持ちのよい挨拶や返事ができる子供が育っている。	B	道徳科や特別活動を通して、引き続き、指導を行っている。その結果、挨拶や返事が定着しつつある。子供からの挨拶を待つ姿勢ではなく、教師から積極的に挨拶をする姿を示すことで、挨拶での交流を図る。
		○ いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいる。	B	毎月のアンケートや「西小VSの日」での遊びが充実したり、保護者や地域との連携を密にしたりしたことで、児童理解が図られ、いじめや不登校への早期発見・早期対応を組織的に図ることができた。今後もいじめ・不登校に関するケース会議を定期的に行い、迅速な対応につなげたい。
		○ 計画的、組織的な安全教育を行っている。(防災、防犯、交通安全等)	B	今年度は青少年赤十字活動や人権・同和教育と関連させ、「いのち」をテーマに防災教育の推進と充実を図った。この学びは子供を中心に、家庭、地域へと広がりが見られた。また、予告なし避難訓練や余震を想定した避難訓練を実施する等、自分で判断する子供の育成を試みた。引き続き、防災教育の見直しと工夫に努め、どう実行できているかをしっかりと見取っていく。

3	地域に根差した教育	○ 地域に根差した教育活動を積極的に行っている。	B	保護者、地域、関係諸機関と連携し、今年度も、総合的な学習の時間や生活科を中心に、様々な教科で地域のよさを学ぶ教育活動の充実を図ることができた。この学びの充実をしっかりと情報発信し、更なる地域学習の充実、拡大を図りたい。
		○ 家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	B	学校支援ボランティアの方とのつながりが増えてきている。体験活動や子供たちへの学習支援などが充実され、子供たちの学びに向かう姿勢が多く見られるなど、教育効果が大きく表れた。引き続き、ゲストティーチャーとして授業に参加してもらうなど、学校支援ボランティアとの良好な関係を築いていく。
		○ ふるさとを愛する子供が育っている。	B	アンケート結果によると「松野を好き」という子供は9割以上を占めている。総合的な学習の時間や生活科での学びや地域に出向き、地域の人と出会う場を多く設定したことで、ふるさとを愛する子供が育っている。今後は体験的な学習の機会を何を感じたかを郷土愛につながる振り返りを大切に指導していきたい。

<保護者・地域アンケートの意見>

【保護者】

- ・学校から帰ると、その日にあった良かったこと、良くなかったこと、いろいろ話して聞かせてくれます。「大丈夫かな？」と思う内容の時もありますが、学校へ行くことを嫌がらないので、今のところ心配なく見守っています。毎日、子供たちのためにありがとうございます。
- ・大勢の前で話すのが苦手な我が子ですが、学校を苦痛に感じておらず、毎日「今日も楽しかった！」と家に笑顔で帰ってこれているのは現場の先生たちのおかげです。心から感謝しています。ありがとうございます。
- ・信号を見切り発進で進んでいる子（自転車）を見掛けた。事故になる可能性があり、とても危ないので全体にもう一度呼び掛けをしてほしい。➡全校に指導。
- ・「マチコミメール」をもっと活用できないか。例えば、お休み連絡の機能が使えれば前日等事前に入力できるので朝の時間がバタバタしなくてよいし、先生方も電話を受ける手間が少なくなるのでは。日中の確認が大変であれば、当日7：30までの連絡をマチコミメールで行ってもらい、それ以降を電話対応にする等。
- ・ペーパーレス化が図れないか。全校的な連絡は「マチコミメール」で配信（メールを入れる）でもよいのでは。プリントを出していない時に困ったケースがあるので…。保育園では「コドモン」というアプリで連絡を入れてもらえ、必要であれば紙で対応もしてもらっている。
- ➡2学期より「マチコミメール」での欠席連絡、学校からのお知らせを行い、活用の幅を広げている。
- ・音楽発表会はもうないのか？他の地域はあるようだが。

【地域】

- ・水野校長先生を中心に、一人一人の子供たちを大切にしたい対応をしてくださっていること、心から感謝しています。ありがとうございます。
- ・秋の地方祭では、小・中学生が進んで参加してくれて、大変ありがたかったです。
- ・子供が主役の地域の伝統行事が実施できなくなっている。少子化及び保護者の負担感によるものと思われるが、何とか体験させてあげたい。（できている地域もありますが）学校の校庭で亥の子をつくとか、各教室を牛鬼で回るとか学校行事として行えないだろうか。
- ・登下校時の挨拶の声が小さい。（すばらしい班もある）
- ・以前にも書いたのですが、朝早い登校で口がかたいですが、下校時にはワイワイと楽しそうです。
- ・保護者の登校時見守り（金曜日）見掛けない日がある。
- ・PTA会長以下役員の方も登校時、各所で見守ってほしい。（子供たちの様子が分かるはず）
- ・2年前までは児童生徒を見守る会があり、学期ごとに会を催していたが、それがなくなり、先生、PTA役員に意見を言う機会がなくなり、残念である。